

第3回保健医療大学の機能強化に向けた調査検討会議 御意見等への対応について

資料1

番号	項目	内容	対応
1	協議事項 (2) 教育内容等と必要な組織等	大学院の定員については、リモートをフルに使えば、もう少し定員を増やせるのではないかと思います。幕張にしても仁戸名にしても、実際に社会人が通うのはかなり大変です。通学をする必要があるということになると、社会人にとってはかなり狭き門になってしまう気がします。大学院なので、一定程度のスクーリングは必要と思いますが、かなりの部分をリモートでできる可能性があるのではないかと思います。そうすると、定員をもう少し増やすことができ、学べる機会も増えて、人材育成に繋がるのではないかと思います。	大学院の定員や学びやすい仕組みづくりについては、他県の事例や県内のニーズを把握しながら、検討を進めてまいります。
2	協議事項 (2) 教育内容等と必要な組織等	定員が足りる・足りないというのは、発展的に、将来できるように余裕を持った、幅を持った想定にすることがよしいかと思います。やってみながらそれに合わせていくことが重要であると思います。	大学院の定員や学びやすい仕組みづくりについては、他県の事例や県内のニーズを把握しながら、検討を進めてまいります。
3	協議事項 (2) 教育内容等と必要な組織等	大学院の修業年限は2年とのことですが、社会人にとってはかなり厳しいスケジュールだと考えます。ただ、これがオンラインなども活用しながら受けられるということであれば、2年はかなり現実的、実現可能になってくると思います。もし2年で修了を目指すということであれば、やはりリモートは必須なのではないかと思います。ただ、対面の良さもあります。社会人でどうしても業務の都合で通えない、業務優先になってしまうこともあるので、例えば選択制で3年にできるとか、4年、5年通ってもいいとか、そのあたりを流動的に選択できる仕組みがあると良いと思います。	大学院の設置の検討に当たっては、長期履修制度や夜間・休日の授業実施など、働きながら学べる仕組みを検討し、報告書を取りまとめてまいります。
4	協議事項 (2) 教育内容等と必要な組織等	神奈川県立保健福祉大学も長期履修制度を持っていますが、社会人の方は半数以上は長期履修生です。あまり長期でいると論文がまとまらないかもしれませんので、それを前提にしすぎないほうがいいかもしれませんが、大事なことだと思います。	大学院の設置の検討に当たっては、長期履修制度や夜間・休日の授業実施など、働きながら学べる仕組みを検討し、報告書を取りまとめてまいります。
5	協議事項 (2) 教育内容等と必要な組織等	事務の方はすごく大変そうです。学校のプロではないので苦労されていると思います。しかし、固定してしまい、適材ではない人材でも動かさなくなってしまったりは悩みにもなってしまうと思います。そこはぜひさらに検討を進めていただきたいです。	いただいた御意見も踏まえ、事務局機能の最適な運営手法を検討し、報告書を取りまとめてまいります。
6	協議事項 (3) 立地及び施設・設備、運営主体について	学内ネットワークについて、幕張キャンパスで仕事をさせていただくことがありますが、電波が全然通じなくてすごく苦労します。保医大の前に放送大学が立地しています。放送大学は上手くやっているのではないかと思います。また、高校もあります。周辺施設はどうしているのか、少しリサーチをしていただけたらと感じました。	いただいた御意見を踏まえ、周辺他施設の電波状況や工夫等について、調査してみたいと考えています。

番号	項目	内容	対応
7	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	<p>アンケート結果にもありましたように、仁戸名にせよ幕張にせよ、1キャンパスに統合した方がいいと思います。今後人口が減っていく、学生が減っていくということを考えると、学生が通いやすいという視点で考える必要があると思います。そうするとやはり、幕張キャンパスの方が、京葉線や京成線、JR総武線などアクセスがよく、学生を集めるにはいいと思います。</p> <p>また、国際交流の面でも近隣の大学が近くにあるという点や、学生間の交流、医療だけではなくて他の分野の学生とも交流をして、人間性の成長も期待できるのではないかと思います。仁戸名キャンパスは自然豊かで静かで、勉強するには私自身も好きな場所ではありますが、県外や、県内でも遠くから来てる学生にとっては、2キャンパス間の移動、アパートを変えなきゃいけない、通学に時間かかるといった負担があります。</p> <p>また、一番感じたのは、他の学科の学生と交流ができないことです。大学生らしい大学生活という夢を描いていましたが、仁戸名キャンパスのリハの50人の学生だけで過ごすというのは、少し寂しかったなという思いがあります。1キャンパスになることで多職種連携などにプラスになることも多いかと思っています。</p>	<p>キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。</p>
8	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	<p>学生を集めるための環境は、すごく重要だと考えます。その点を考えますと、京葉線沿いに位置しており交通の便が良く、そしてある程度注目を集められるという点で、やはり幕張というキーワードは大きいと思います。それこそ千葉の中で幕張となると、学生たちだけではなく、親や学校関係者に関しても注目を集められます。今後学生数が減ってくることを考えると、大学が位置する環境の良さは重要だと思いました。また、統合することは、学習環境を考えましても、非常に重要なことだろうと思いますので、A案がいい案だと思いながらお話を伺いました。</p>	<p>キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。</p>
9	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	<p>今、学生を集めるのはとても大変だと聞いています。やはり立地というのは、学生が大学を選ぶにあたっては、最重要課題だと思います。幕張か仁戸名かということになれば、全て幕張キャンパスに持ってくるのが一番大事だと思います。そういう意味でA案を強く支持したいと思います。</p>	<p>キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。</p>
10	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	<p>A案、B案のどちらかで検討を進めるべきだと思っております。キャンパスの立地や機能配置について、どの視点で検討するのかということは、色々な立場によって見方があるかもしれませんが、私はあくまでも、学生やその保護者の視点を重視して決めていかなければいけないと考えております。</p> <p>多くの大学が都心回帰を進めている中で、将来にわたって保医大が競争力を維持していくためには、都心に近い立地であることが最も重要であると考えております。また、医療従事者の多数を占める女性の観点・視点も重視しなければならないと思います。大学院や社会人教育機能についても、学部卒業後の女性のライフステージを考慮に入れて立地を検討すべきではないかと考えております。</p>	<p>キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。</p>

番号	項目	内容	対応
11	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	幕張の1キャンパスに賛成です。仁戸名はアルバイトをしたくても働ける場所は無く、ご飯を食べる場所也没有。大学院を仁戸名に持っていったらどうかという案もありましたが、仁戸名キャンパスの前の大網街道はとても混みます。特に仕事が終わった時間あたりに仁戸名に集まろうとすると、大渋滞で非常に苦勞すると思います。バスはありますが、昨今の人材不足で本数がかかり削られてきています。そのため、交通手段の面で仁戸名キャンパスはかなり苦しくなってしまうのかなというのを感じています。仁戸名キャンパスの周りは下宿を探すのも非常に大変です。そういう意味でも幕張の方がいいのではないかと思います。神奈川県保健福祉大学も、大学院がすごくいい立地であって二つに分かれていると思うので、そういう意味では、二つに分けるのであればより立地のいいところで、どこかのテナントに入るぐらいではないと苦しいのではないかと感じました。	キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。
12	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	幕張は仁戸名に比べ、とても交通の便がいいと感じます。仁戸名はバスに乗らないと千葉駅まで出られない。また、バスを降りてからもキャンパスまで15分くらい歩く必要があります。仁戸名の学生は非常に苦勞されていると思います。幕張であれば駅まで歩けます。バスなど使わずに最寄り駅まで行けるといことは、立地条件としてはものすごくいいと思います。そのため、幕張キャンパスに統合するというA案は、将来的に大学生を集めるという意味でも、立地条件がいいと思います。	キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。
13	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	幕張キャンパス統合案に賛成する。少子化の中で、各大学は学生募集に苦慮しているが、地方立地大学は国公立を問わず特に厳しく、私立大学の6割は定員割れである。学生にとり、キャンパスの立地は大学を選ぶ際の重要項目の1つであり、特にアルバイトの選択肢が多い幕張地区は魅力的である。八王子方面などの郊外にキャンパスを移転した都心の大学では、近年、キャンパスを都心回帰させる動きがあり、立地条件の向上により志願者数の回復にも繋がっている。このような観点からも、自然環境の好い仁戸名は魅力的ではあるが、「遠い」「不便」のイメージが学生募集に悪影響を及ぼす事を懸念する。	キャンパス立地の検討に当たっては、いただいた御意見も踏まえ、報告書を取りまとめさせていただきます。
14	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	お金の問題もあると思いますが、ローリングで新築していく場合、中で仕事をしている人には負担が長く続いてしまうかもしれないと思います。大規模改修がいいかどうかはわかりませんが、時間がかかりすぎてしまう可能性があるのかなという危惧があります。	施設の更新に当たっては、学生や教職員の負担が少ない形での実施となるよう、留意して検討を進めてまいります。
15	協議事項 (3)立地及び施設・設備、運営主体について	基本的には法人化に賛成ですが、1つの懸念は、国立大学が独立法人化した結果、デメリットもあつたと考えております。財産の問題、特に資金繰りについて、県との風通しが良くなってないといけません。何年か経ち人が変わって冷たい関係になってしまうと、問題になってくる可能性があるかもしれません。十分に気を付けていただきたいと思います。	法人化の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめさせていただきます。

番号	項目	内容	対応
16	協議事項 (3) 立地及び施設・設備、運営主体について	法人化について、直営では事務局機能を担う専門人材がなかなか育たないというところがあります。国立大学は機構改革の中で様々な方針が変わってきています。そうしたことをキャッチアップしながら大学改革を進めていく必要がありますが、事務局職員が入れ替わってしまい残っていかない状況では非常に難しいところがあります。そうした意味では法人化は前向きに検討いただきたいと思っています。	法人化の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめてまいります。
17	協議事項 (3) 立地及び施設・設備、運営主体について	国立大学の法人化の一番の大きな目的は、運営交付金を削減して経営を効率化していくことだと思います。現状の国立大学は非常に苦しんでいると思います。その結果、教育機能が非常に危機にさらされているような状況になっていると思います。保医大は卒業生の70%以上を専門職として県内に輩出して貢献してきているわけですが、その点を評価いただき、優秀な人材を県に残していく、そういう財産を作っていくという観点で、国立大学の法人化のような、単純な経済的理念で進めるのではなく、今の教育機能をさらに活性化すること、それは教員についても同様で、今後大学院を設置した時に、民間の優秀な人材が来てくれるようにクロスアポイントで取れるような、身分の流動化も必要になってくると思います。それは現状の県の直営ではできません。今後、新しい大学を作るにあたっては、ぜひそういう点を考慮いただき検討いただきたいと思っています。	法人化の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめてまいります。
18	協議事項 (3) 立地及び施設・設備、運営主体について	大学院を作って研究環境を活発にさせるという観点から考えると、法人化は必要であると思います。外部資金をしっかりと稼いでこないと研究はできませんが、外部から稼いだお金も県の一般会計に入れないと運用できないという話では、研究はできなくなります、法人化は積極的に検討された方がいいと思います	法人化の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめてまいります。
19	協議事項 (3) 立地及び施設・設備、運営主体について	公立大学法人化は必要である。 ①教職員人事において雇用・クロスアポイントメントを柔軟にする体制を作り、他大学や企業等の提携を推進する等、職員の専門性向上に資する。 ②収益事業の拡大により、安定財源確保を期待できる。 ③自主性・自律性こそが、変化の激しい社会における対応力を高める。また、財政的な自由度を高めることでニーズに応じた教育プログラム開発や研究活動が期待できる。ただし、県の財政支援は不可欠である。	法人化の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめてまいります。
20	協議事項 (4) 機能強化の進め方について	ある設計事務所に事情を聞いたところ、向こう5年、10年のスパンで建築費が下がる見込みは全く無いそうです。ここ数年で建築費が倍になっていますし、県内の医療センターも当初の予算から倍になってしまっています。そのため、今の議論をなるべく早く終わらせて設計にかかってもらわないと、1年、2年遅れただけで予算が相当増えてしまうと思います。結局、予算の問題があり、金額が高くなると縮小せざるを得なくなってしまうので、是非、急いでやっていただきたいと思っています。	機能強化の進め方の検討に当たっては、いただいた御意見に留意し、報告書を取りまとめてまいります。

番号	項目	内容	対応
21	その他	<p>18歳人口の減少によって、今、大学は大変なことになっております。どの大学も学生を集めるのに必死になっておりまして、おそらく今年から来年にかけて、大学の統廃合が進んでくるだろうと思います。</p> <p>つまりこれから大学は、学生たちにとっていかに魅力があるか。また地域にどれだけ貢献でき、どれだけ地域の人が価値ある大学として認めてくれるか。こういう大学でないと生きていけないのではないかと私は思っております。</p>	<p>いただいた御意見に留意しながら報告書を取りまとめるとともに、今後の大学運営等を進めてまいります。</p>

(参考) 仁戸名キャンパス周辺の道路整備について

千葉市ホームページ「都市計画道路 加曾利町大森町線（松ヶ丘町地区）事業」説明資料より抜粋

1. 事業目的

本路線は、国道51号を起点とし、国道126号、主要地方道千葉大網線を連絡し、国道16号に接続する幹線道路。当該道路が整備されることにより、大網街道から都市計画道路南町宮崎町線を経由し、蘇我副都心の中心となるJR蘇我駅に連絡され、松ヶ丘方面からのアクセスが向上する。

2. 整備区間の概要

延長：800m

幅員：18m

